

九州キリスト教社会福祉事業団 事業団だより

(発行)
社会福祉法人
九州キリスト教
社会福祉事業団
〒871-0162
大分県中津市永添2744
「いずみの園」内
電話 (0979)23-1616(代)
E-mail:
sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

「出会い」

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団

堤 健生



「私にとって、驚くべきことが三つ 知りえぬことが四つ。天にある驚の道 岩の上の蛇の道 大海の中の船の道 男がおとめに出会う道」

旧約聖書 箴言三十三章十八・九節

いずみの園で勤務して、私は多くの出会いが新たに与えられています。施設・福祉を利用される方々とご家族、地域の方々、共に働く同僚や福祉・医療・教会関係の方々です。

人との出会いというものは思えば不思議なものです。冒頭の旧約聖書がユーモアを交えて語りますが、人と人が出会う道これらは

う人の力の全く及びもしない領域にあります。「これも何かのご縁で」と口に致しますが、人と人が出会い、既知の間柄となっていくこと、そしてやがては別れねばならないことを含めて、全ては人の手のわざの及ばぬところにあります。

人が自ら作り出せないものが与えられて手にすることが出来る訳ですから、大切にしたいものです。これこそ神様のお恵みです。

また人とのかけがえのない出会いは、時には私たちがその人の語った言葉と共に与えられるという事が多いものです。このようにして与えられる言葉はいつもの風景の

信望愛



いずみの園 since1978

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。

コリントの信徒への手紙 I 13:13

いずみの園のサービス・コンセプト (私たちの取り組み)

- ① **アメニティ(快適主義)**
快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービスを提供します。
- ② **ヒューマニティ(人間主義)**
心と体の自由を尊重、一人ひとりの尊厳性を大切にされたサービスの提供を行います。
- ③ **ローカリティ(地域主義)**
地域と共に歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たします。

中に輝く宝石のようなもの。見える景色を一変させてしまいます。この人と出会えて良かったと心から思うものです。

最近職場を通して輝く言葉と素晴らしい出会いが与えられました。ご紹介致します。

昨年の六月、奥田知志牧師(NPO法人抱樸(ほうぼく)理事長・八幡キリスト教会牧師)のお話をうかがいました。奥田氏は長年九州でホームレス支援の働きをされている方です。次のようなお話でした。

「人が他の動物と大きく違うところは、生まれたときおなかを上にして仰向けになって育つことです。それに対して動物はお腹が一番弱いところなので決して上には致しません。人がお腹を上にして育つこと、それは多くの人によって助けてもらって生きていくという事

が人の姿であるということ。そのようにして人は家族を作り、お互いが助け合って生きてはじめて人となっていくのです。社会でつまりいて弱者になったのは本人の自己責任だという風潮もありますが、助け合って生きるということをお否定するならばそれは「ひと」であることをやめて犬や猫と同じになることを意味するのです」と。

また一つ私は出会いを通して生きていく希望と喜びが与えられました。



社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 2017年度 法人本部いずみの園事業計画

1. 基本方針

『事業団・いずみの園職員としての誇りと責任、福祉のまちづくりへの挑戦』

2012年に策定した「いずみの園新5か年プラン」は16年度で終了、福祉の総合化プラン「中津総合ケアセンター」構想は順調に進捗しました。児童福祉から高齢者福祉、そして障がい福祉の三本柱体制がほぼ整いつつあります。これからの超高齢社会に対応した地域包括ケアシステム（住み慣れた地域で最後まで）、地域共生社会（2016年8月厚労省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部）推進の先駆例として一定の評価を受けています。また、今回の社会福祉法の改正による当法人の定款変更申請においては、その目的に「キリスト教の愛と奉仕の精神」という文言が初めて所轄庁より認可されました。このことを踏まえ、中津総合ケアセンターいずみの園と三保育園は「愛と奉仕の精神」でさらに事業を推進し、九州キリスト教社会福祉事業団の職員としての誇りと責任をもって福祉のまちづくりに挑戦を続けます。

2. 重点目標

① 行政、地域との連携―福祉のまちづくり

・第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画

・中津市総合事業、地域支援事業への対応
・地域関係団体との連携

医療、行政、福祉関係、地域団体、学校、警察、消防、農業、商工会議所、

法人会、青年会議所、中小企業家同友会
・社会福祉の見直し、魅力のある事業所

雇用創出、U・イターン「中津で働きたい」、人材確保

・地域に貢献、発信する保育園
子育てや生活など地域の福祉拠点

② 地域包括ケアシステムの推進

・2025年問題、福祉のまちづくり

・小規模多機能型居宅介護事業「寄合センターいずみ」

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）
・認知症対策―認知症カフェ、高齢者徘徊模

擬訓練
・地域公益課―生活困窮者や制度の狭間対策

専従のCSW
・介護予防・元気老人対策―出張介護教室、

介護予防教室
・市民参加、ボランティアの再構築、2毛作会

③ 組織体制の確立「堅実経営」

・経営ガバナンスの強化

（業務執行）理事の誕生
・経営の近代化、合理化
生産性、効率性、先駆性

―企業経営に劣らない
各事業部の経営分析

・法人本部、経営企画室の役割
・18年医療・介護の同時改定対策

④ 人材育成、人材確保対策

・中間管理職講座、次世代リーダーの育成

・人材確保関連具体化検討チーム活動の継続
・高校新卒職員育成プログラム、エルダー制の充実

・外国人人材の導入（韓国、ベトナム）

・メンタルヘルス計画、安全衛生委員会の推進
・WLB（ワーク・ライフ・バランス）の推進

⑤ 共生サービス事業の強化

・障がい者グループホームの建設
設計、事業内容、人員配置の検討

・新規・中津市障がい者等基幹相談支援センター事業の受託
中津市相談事業の統括機関

・新規・中津市地域活動支援センター事業（I型）の実施

・就労継続支援事業の推進
・サマリア館事業の推進、強化

- (6) 後援会活動の強化
事業団だよりの発行
- (5) 役員研修
- (4) 役員研修
- (3) 監事の監査
年1回(5月)
- (2) 評議員会の開催
年4回(6月、11月、1月、3月)
- (1) 評議員会の開催
年4回(6月、11月、1月、3月)

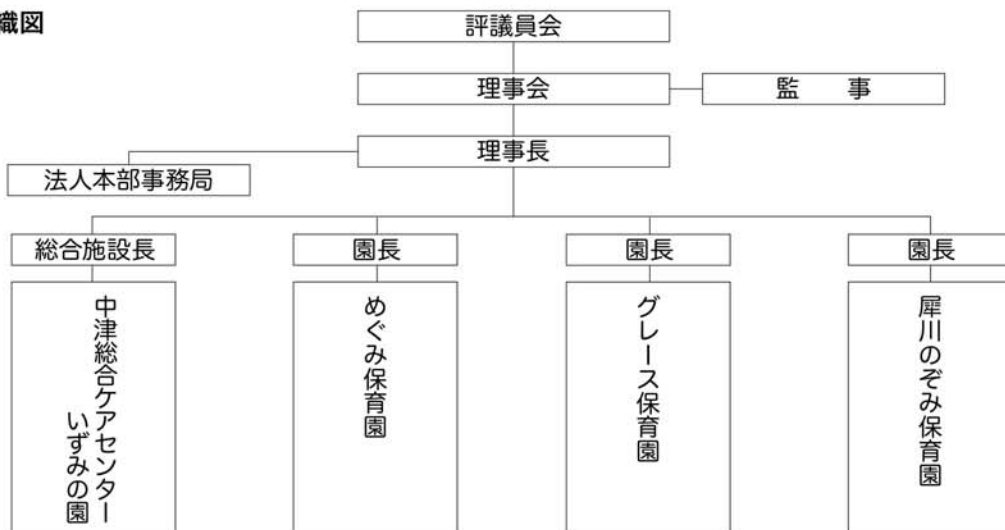
- ⑦ レジデンシャル研究会議全国大会
2017年9月30日～10月1日 別府
「地域包括ケアシステムと地域の未来」
超高齢社会 人口減少 経済縮小 自助・
互助 共生社会
- ⑥ いずみの園創立40周年記念事業準備委員会
2018年5月
いずみの園40年の歩みと将来に向けて「新
生いずみの園」を画く
総合調整班(事務局) 記念誌班 式典班
広報班

子ども・高齢者・障がい者、多世代間交
流、地域の寄合所

- 4. 組織
- (1) 本部 大分県中津市永添2744番地
特別養護老人ホームいずみの園
- (2) 評議員
安藤 元博 大繼 徹朗 清源万里子
熊井カホル 坂田 弘光 高山 優治
滝口 真 福成 清子 古江 信一
古川 信房 吉田 秀久
- (3) 役員
理事長 富永 健司
理事 多田 玲子 松本 新子
有馬 健 市川 朋克
谷口 弘美 堂本 高雄
島田 晋 廣安慎太郎
監事 金枝 豊治 武下 英二
- (4) 事務局
有馬 健 堂本 高雄 末延 政光
小松 証子 富永 義道



5. 組織図



九州キリスト教社会福祉事業団 2016年度献金報告

(敬称略させていただきます)

● 個人・団体の部 ●

赤坂喜生	柿原康一	曾我部康子	東島幸子	安田薫
阿世賀節子	狩生伸枝	田財登	廣安慎太郎	山下猛
憐一粒社ヴォーリス 建築事務所	木下みどり	多田玲子	福永佳代子	山城順
稲益九重	木安透	田村節子	福岡市民クリスマス 実行委員会	山本スエ子
稲益大希	後藤和子	堤健生	本間都志輝	横田静子
白木孝	齊藤昭夫	坪井千鶴	正木米子	吉高國彦
恵良定子	桜井芳恵	西郡幸子	松下英子	吉高美籠
大塩進也	佐田園美	西郷里まゆみ	宮崎千枝子	吉武隆善
大江三枝子	佐藤智子	西野貞雄	向笠俱子	和間一秋
楠オーツー	四熊フサ	橋本高幸	向笠實	盆踊り御仏前 (匿名希望)
小川大典	篠原シヅ子	橋本利七郎	守田收	
	柴原章子	馬場康子		

● 教会関係の部 ●

(教会：大分県内)	錦ヶ丘教会	(教会：九州以外)	(教会婦人会)
宇佐教会	日本基督教団九州教区事務所	岡山信愛教会	北九州復興教会女性会
大分教会	福岡中部教会		小倉東篠崎教会婦人会
中津教会	福岡城東橋教会	(学校・保育園・幼稚園)	佐世保教会女性会
中津扇城教会	福岡女学院教会	愛隣幼稚園	津屋崎教会女性の会
中津福音キリスト教会	福岡中部教会	いずみの園フェスタ バザー等の売上げ	福岡中部教会婦人会
別府不老町教会	福岡渡辺通教会	グレース保育園つくしの会	宮崎清水町教会女性会
三重教会	宮崎教会	周船寺第二幼稚園	門司教会婦人会
由布院教会	宮崎清水町教会	福岡女学院中学・高校 宗教部	
(教会：九州)	門司教会	めぐみ保育園	
北九州復興教会	門司大里教会ぶどうの木の会		
国分教会			
西都教会			

献金のお礼とお願い

今年度も当事業団の働きのために多額の尊いご献金を賜り、心より厚く御礼申し上げます。さて、ご高承のとおり、昨今の福祉を取りまく環境は厳しい状況にありますが、いずみの園や各保育園の諸事業の働きは、全て順調に推移しております。これもひとえに、常日頃ご支援いただいております皆様のお陰と、関係者一同心より感謝しております。

「いずみの園」では、社会福祉法人としての公益性、独自性、先駆性を堅持し、障がい児・者事業の取組を進め、2013年に開設した障がいのある人の働く場としての就労継続支援A型・B型事業所「ワークセンターシャローム」に続き、2016年8月には生活介護「いずみの丘エステル」を開設いたしました。今後とも、皆様の絶大なる御支援の程、よろしくお願い申し上げます。

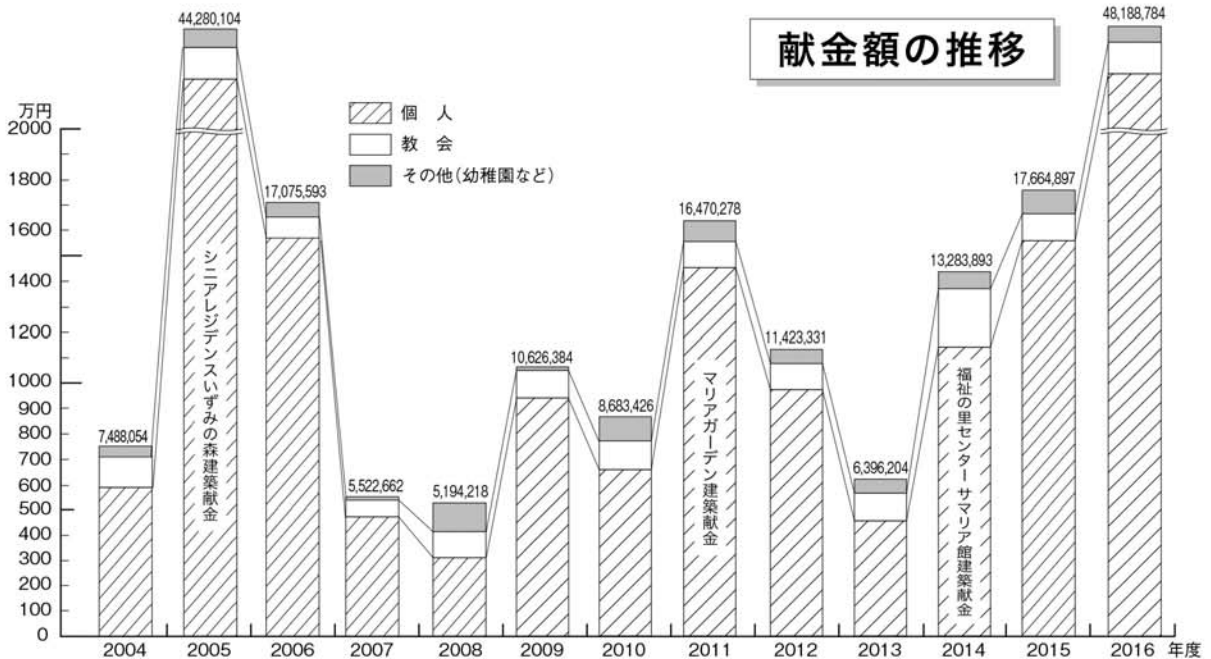
2017年4月

理事長 富永 健司

献金額の推移

単位：円

2004年度	7,488,054
2005年度	44,280,104
2006年度	17,075,593
2007年度	5,522,662
2008年度	5,194,218
2009年度	10,626,384
2010年度	8,683,426
2011年度	16,470,278
2012年度	11,423,331
2013年度	6,396,204
2014年度	13,283,893
2015年度	17,664,897
2016年度	48,188,784



▼ 献金のご案内 ▲

【献金使途】

- 1 法人のため
- 2 特別養護老人ホームいずみの園のため
- 3 ケアマンション聖愛ホームのため
- 4 めぐみ保育園のため
- 5 グレース保育園のため
- 6 犀川のぞみ保育園のため
- 7 その他

【送金方法】

- ① 現金送金
大分県中津市永添二七四四
いずみの園内
- ② 銀行振込
大分銀行 大貞支店
口座番号 普 6379
- ③ 郵便振替口座払込
口座番号
01750・8・130861

【名義】

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
理事長 富永 健司
(この寄付金は所得税法及び法人税法により税の控除の対象となります)

ケアマンション 聖愛ホーム

ホーム長 森 光徳

「現代の『向こう三軒両隣』の共同体！」
母が「おーい！○○さんとこから砂糖借りたーい！」私「ハイ」と近所の家に借りに行きました。私が子供で、まだ物があまりない頃にはそうした近所同士の貸し借りやお裾分けなど日常茶飯事でした。「向こう三軒両隣」と言われるように、また、そうして助け合うことで生活が成り立っていました。

しかし、煩わしいこともあります。あまりに御近所付き合いが濃密なため、あそこの家の何ちゃんはどうしたこうした、猫が何匹いるのなんて。現代社会では考えられないかもしれません。

現在聖愛ホームは、68歳から97歳までおられ介護保険の対象者も増えていますが、50人の共同体ですから色んなことがありますが、何階の○○さんの具合が悪い、○○さんの食欲がないなど情報がすぐ入り、そういった意味では共助に優れていると言えます。また、老化防止の自助としてリハビリ体操や趣味の歌、マジシャンなど皆さんそれぞれに、自己を把握し日々の老化に立ち向かっています。



入居者の方々

まさに、信頼のコミュニティ「現代版の『向こう三軒両隣』」ではないでしょうか？そしてそれが、常に神様が寄り添ってくださいます。

めぐみ保育園 (大分東教会)

園長 島田 晋

「めぐみ保育園から」



週間礼拝

3月18日に22名の園児が「卒園式」を迎え、4月には小学校に入學します。また、4月4日に15名の新入園児を受け入れ、「第50回入園式」を挙行しました。今年度は全国的に3月の気温が低く、桜の開花が例年より20日ほど遅れ、園庭にある桜の老木にもようやくピンク色の花びらが見られました。新年度園児数は113名、昨年の当初より10名減でスタートします。

大分市では、待機児童がここ数年多く、新認可園の参入が続く、保育所の数が増加しています。「めぐみ保育園」は、大分市内唯一の「キリスト教」に基づいた「保育所」として、「愛と奉仕」の精神で、子どもたちに寄り添い、思いやりの気持ちを大切に、保護者支援に取り組んでいます。園内では、毎週金曜日に年長児(3〜5歳児)と未満児(0〜2)に分かれ、2か所で「週間礼拝」を守っています。年主題「愛されて育つ」、年主題聖句「あな方は神に愛されている子どもです」エフエソの信徒への手紙5章1節。園児は「げんき・えがお」です。今後の歩みの上に主の御加護があるよう祈ります。

犀川のぞみ保育園 (犀川教会)

園長 池上 信也

昨年度は39名に始まり、途中入退園の結果43名で年度を終えました。8名が卒園、4月新入園児を4名迎え、今年度も39名でスタートです。

かねてより懸案事項であった施設整備が幾つかできました。園庭大型遊具、楽器各種、お散歩ワゴン、スチームコンベクション、職員用駐車場など、以前から必要としていたものや最新の機器などを整備しました。本部の助力でホームペーじも再開設できました。一昨年から開始した休日保育事業は利用が3倍近く伸び、地域のニーズに答えています。日曜の利用が増えたことで職員配置が苦労の種ですが、何とか対応していきたいと考えます。



園庭の大型遊具

今年度からICカードによる登降園管理を開始し、全館のWiFi環境とタブレット端末による保育業務のICT化に少しずつ対応して行きます。職員も1名異動がありました。新しい風を入れて、京築地域唯一のキリスト教保育園として事業を継続してまいりたいと願っています。どうぞ祈り支えてください。

グレース保育園 (中津教会)

園長 廣安慎太郎



卒園礼拝

3月25日第43回卒園礼拝がもたれ、20人の園児がグレース保育園を卒業しました。今年度は新入園児23人を迎え、新年度がスタートします。今年度の年主題は「愛されて育つ」(エフエソ5:1)と掲げました。ゆきとどいた愛情の中に育てられ、乳児期を過ごした子どもは、必ず、自発的な知的好奇心・探求心・意欲が起ります。

幼い子どもは、家族・周りの大人・友達に愛され、守られることによって、「自分は価値ある存在だ」と知ります。愛は人を輝かせる大きな力を持っています。愛が注がれると、人はそのままではいられません。動き始めます。変わります。育ちます。「心」は教育というより、沢山の愛情を受けて育まれるものです。春の陽だまりのぬくもりを感じるように、愛されていることを、子ども達一人ひとりが実感出来るように接していきたいと願っています。そのために強く、深い愛が与えられることを願います。又神様の御心に適う愛し方を学んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしく願います。